

令和6年6月19日実施 無電柱化推進事業（競馬場通り）事業PR会 主な質疑応答

番 号	参 加 者 か ら の ご 質 問	回 答
1	採用する手法とその理由について教えて欲しい。	本事業は電線共同溝方式で整備しますが、一部区間では既存ストック活用方式を採用しています。既存ストック活用方式の採用理由は、活用出来る既存管路があり、既に埋まっているガス管や水道管などを支障移設する時間を削減できるためです。
2	地中化したあとの電力線のメンテナンスにかかる費用や期間について教えて欲しい。	電力線については、電力会社が管理しております。詳細については電力会社にお問合せ下さい。
3	地中化していない状況で電柱が倒壊した場合、復旧時には地中化するのか。電柱を立てるほうが安くて早いのでは。	電柱倒壊によって道路が塞がれた場合、区と電力会社が協力して対応します。ライフラインの復旧にあたっては、早期復旧可能な方法を取ります。例えば、応急処置として仮柱を立てる、といったことが挙げられます。
4	無電柱化推進計画（P20）において、課題として無電柱化の工事には長い期間が必要になるとあるが、工種を削って期間を短くすることはできないのか。	支障する地下埋設物が無く、支障移設が不要となればその分期間を短く出来ます。しかし都心部では現状そのような場所はほとんど無いため、困難な状況です。本事業では、既存ストックを活用して、支障移設工事や本体工事の削減を図っています。
5	区内で無電柱化されていない第一次緊急輸送道路はあるか。	競馬場通りと第一京浜が、第一次緊急輸送道路に指定されております。第一京浜については国が施行しており、現在事業中と聞いております。
6	競馬場通りが無電柱化される理由を教えて欲しい。	品川区では、無電柱化推進計画を策定し候補路線を選定しております。競馬場通りは第一次緊急輸送道路に指定されており、同じく第一次緊急輸送道路である第一京浜と広域避難場所（しながわ区民公園、大井競馬場）を結ぶ路線であるため、優先整備路線として位置づけております。
7	北側の歩道は段差が多く幅も狭い。段差の解消や低木の植栽帯を無くして歩道幅員を広げて欲しい。また、植栽の低木はパイ捨てや植木の持ち込み等の問題もある。高木で日陰が形成されるのなら、低木は必要ないのではないか。	ご要望については、令和１０年度に予定している道路復旧工事にて検討させていただきます。
8	難視聴ケーブルを無電柱化する際は、地中に埋めるのか。	ご認識のとおりです。